

文書管理システム及び財務会計システム更新業務 公募型プロポーザル評価要領

1 趣旨

この要領は、文書管理システム及び財務会計システム更新業務に係る契約の相手方となる受託候補者を特定するにあたり、評価委員会が行う審査に関し、必要な事項を定める。

2 審査方法

- (1) 評価委員会は、評価基準に基づき、企画提案書など提出された書類及びプレゼンテーションの内容を採点するものとする。
- (2) 評価委員の採点において、すべての提案者の平均点数が6割に達しない場合は、受託候補者を選定しない。
- (3) 提案者が1者であっても、評価委員の採点において、当該提案者の平均点数が6割に達する場合は、受託候補者として特定する。
- (4) 提案者が4者以上の場合は、評価基準に基づき、事務局で事前審査を行い、上位3者を選定する。
- (5) 評価の参考とするため、参加意向申出から企画提案書提出までの間に、別に定めるシナリオに基づき、事前システムデモを行う。事前システムデモは、評価委員が指名する者が受ける。
- (6) 事前システムデモは、評価委員会の評価の参考とする。

3 評価基準

評価基準は、別紙のとおりとする。

評価基準

評価項目		評価内容	評価点
大項目	小項目		
企業評価	-	<ul style="list-style-type: none"> 過去5年間の受注実績が十分か。 受注者として、経営の継続性が十分であるか。 本業務への意欲が感じられるか。 	10
提案の全体像	基本的な取組方針	<ul style="list-style-type: none"> 本業務の目的を理解しているか。 本業務の目的を踏まえ、明確かつ具体的な取組方針が示されているか。 提案書の全体を通して、何をどうするのが分かりやすく、説得力があり、実現可能性があるか。 	10
システム	システム全体像	<ul style="list-style-type: none"> 長期間にわたって丹波市で運用できるシステムとなっているか。 提案するシステム形態（原則LGWAN-ASP）及びそのメリット・デメリットが分かりやすく示されているか。 	10
	システム機能	<ul style="list-style-type: none"> 提案するシステムの特徴・機能が分かりやすく、機能要件表【別紙2-1・2-2】の機能対応が望ましいものか。 機能間の関係性、データ連携、ユーザー管理などで、職員の負担軽減につながったり、業務の効率化につながったりするか。 	10
	操作性・拡張性	<ul style="list-style-type: none"> 職員にとって、見やすく操作しやすいシステムになっているか。 職員の増減や利用部署の増減などに柔軟に対応できるか。 将来的な機能追加や制度変更等による改修に対する考え方に妥当性があるか。 RPAなどシステムを補完するツールの活用によって、利便性の向上が望めるか。 	20
	データ移行・システム移行	<ul style="list-style-type: none"> 現行システムから抽出したデータが円滑に新システムに移行できるか。 	10
	セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> データのバックアップやログ管理が適切か。 ユーザーアカウント管理の最適化が図られているか。 	10
コンサルティング	-	<ul style="list-style-type: none"> コンサルティングの内容や推進方法が、庁内の完全電子決裁化・完全ペーパーレス化・BPRにつながるものか。 コンサルティングの実施体制やスケジュールが現実的で、専門性やノウハウが確保されているか。 	20
プロジェクト管理	プロジェクト体制	<ul style="list-style-type: none"> システム導入時の推進体制は、業務の継続性やリスク対応に配慮した実施体制となっているか。 メンバー間の役割分担が適切であり、本市職員への負担軽減が図られているか。 	10
	プロジェクト推進方法・役割分担	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの管理手法（進捗管理、品質管理、課題・リスク管理、変更管理等）を具体的に、適切に実行できるものか。 システム導入過程における会議体がプロジェクトの円滑な推進につながるものか。 システム導入時における丹波市との役割分担が明確で、丹波市にとって過度な負担とならないか。 	10
	導入スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 作業項目やスケジュールが明確で、実現可能なものになっているか。 	10
	研修計画	<ul style="list-style-type: none"> 庁内全体で、本業務の目的やそれを実現する新システムの機能について共通理解でき、すべての職員において、その職階に応じた操作・運用方法を習得できるように研修が計画されているか。 	10

サポート、 運用保守	運用保守体制 等	<ul style="list-style-type: none"> ・保守体制、対応内容、対応時間等が丹波市にとって望ましいものか。 ・S L A（サービス品質保証）が適切に定められているか。 	10
	運用支援	<ul style="list-style-type: none"> ・制度改正やシステムのバージョンアップに適切に対応できるか。 ・運用・保守期間に必要なシステムバージョンアップに対し、本市の負担が最小限となるよう考慮されているか。 ・想定する期間を越えてシステムを利用する場合の対応は、丹波市にとって望ましいものか。 ・利用期間終了時のデータ抽出が可能で、システム移行に支障がないか。 	10
価格	初期経費	提案者のうち最低見積額÷当該提案者の見積額×評価点 ※小数点以下四捨五入	20
	運用経費	提案者のうち最低見積額÷当該提案者の見積額×評価点 ※小数点以下四捨五入	20
合計			200